

社会人へのスタートをアシスト

高校新卒専門の求人サイト「ジョブドラフト」



「ミッションは18万人の高校生と企業の未来を輝かせる」



「ジョブドラフト」は高校新卒専門の求人サイト。「人と未来グループ」の事業会社「株式会社ジンジブ」が運営し、高校生の就職活動を強力に後押しする。佐々木満秀代表取締役(51)、高校卒業後に新卒入社した東京本社営業部の渡邊健斗主任(20)、好永優希さん(18)に話を聞いた。

のべ16000社の企業が活用

東京都港区大門にある「ドラフト」では高校生目線で取材し、会社の雰囲気や先輩インタビューなどを役立つコンテンツを写真や動画で紹介。18万人の高校生と企業の未来を輝かせる。

仕事内容は多岐にわたる。創設から5年経ち、高校生の就職を支援する求人サイト「ジョブドラフト」の運営、高校の現場でのイベント、SNSを通しての企業活用など。

佐々木社長は「高校生は、これからの時代に意欲を持って挑戦できる世代。夢や希望を持って社会に出てほしい」と熱く語った。奈川の県立高校を卒業し、現在入社3年目です。職場

「企業の新入社員はこれまで文字情報のみでした」と振返る。そこで「ジョブドラフト」に思いを込めて、本当に送る佐々木代表取締役(中央)、渡邊主任(左)、好永さん(右)の就職活動に

「1年目は契約していたが、運営がうまくいかなかった」と声を弾ませた。企業を回る日々だと言いつつ「1年目は契約していたが、運営がうまくいかなかった」と声を弾ませた。



高校生目線で取材…役立つコンテンツを写真や動画で紹介

感じました。2年日には実際に自分が伝えたアドバイスが役立つという企業さまの声を聞き、達成感を覚えました」と爽やかに笑った。期待のルーキー好永さんも神奈川県立高校を卒業して入社。営業に出るため準備期間として、テレホンアポイントメントなどをこなしながら精力的に働いている。「以前はアパレルに興味があったが、ジョブドラフトを通じてジンジブを知り、今しかないと決めた。企業も計200社が面白いです」と充実感を深めた。

2人を頼もしそうに見つめる佐々木社長は手応え十分。「入社面接では学歴やSPIの結果などは見ませぬ。学歴や高卒という偏見にとらわれることなく、ファーストキャリアを選択できる就職環境をつくりたい」と語った。今後、汗を流していき、高校生に「リアルも大事にしたい」と、(佐々木社長)と、なるはずだ。



①インタビューに答える渡邊主任 ②期待の新人社員・好永さん

東京、大阪で「就活フェス2019」

○…「就活フェス2019」は今夏の注目イベントとなる。東京会場は7月26日に東京都立産業貿易センターで、大阪会場は7月31日にマイドームおおさかで実施。東阪で就活中の計1000人が参加予定で、企業も計200社が出展予定となっている。来場者はブースを5カ所以上回るとスーツ引換券がプレゼントされるとあって、今後の就職活動にも役立ちそうだ。

知りたい1位は「社風・雰囲気」

○…ジンジブは高校3年生を対象に就職活動に関するアンケートを実施した。約1000人が回答し「会社を選ぶ際に知りたい情報」の1位は「社風・職場の雰囲気」だった。2位は「休日などの待遇」で、3位は「実際の仕事内容」という結果となった。また「どんな会社に入りたいか」に対しては「人間関係がよい」という回答が最多だった。